

2024年7月28日 意見交換会

ワークショップご意見まとめ 第1部「町田市の公共施設再編と図書館の集約について」

Aグループ	町田市の公共施設再編について
	・意見を聞く仕組みが大事。 ・住民の意見を広く聞く。 ・街づくりについて住民の意見を聞くシステム。 ・町田市に対する信頼が損なわれるという意見はその通り。 ・子ども図書館や高齢者向けは必要。 ・再編はしかたがない。 ・大家族のことを考えるー成長して大人になると独り立ちして家を出るー少なくなる。当然、家族構成考えると集約、調整が必要。町田市も同じだと思います。 ・公共施設再編は、総論賛成だがいろいろ知恵はある。(80年使用) ・施設を無くすことでコミュニティがより弱く(悪循環) ・なくすことは慎重に
Aグループ	図書館の集約について
	・廃止すべきかどうか、明確にすべき。 ・図書館は本を貸し出す以外に様々な可能性。 ・利用減少は資料費減が要因、他市と比較して町田市は減少が顕著。 ・地方自治体の本旨 稼ぐ自治体とこの本旨に反する。 ・高齢化と税収不足は全ての市に共通しているのでは？ ・周辺の状況も見ても進めるべき。 ・図書費が低い。 ・ある政党によると、多摩地区で町田市が一番図書館の予算が低い、とのこと。 ・統計の見方を正確に 社会情勢が変化 コロナの影響 ・蔵書数が多摩で最も少ない ・経済がないと何も出来ない、当然節約、あきらめが必要！合理的に考えて、集約すべきことはすべきである。 ・集約の中身が大事、財政が大変なら1つにしないと。

Bグループ	町田市の公共施設再編について
	・公共施設の総量を減らすと言いながら、芹が谷の工芸美術館やスポーツ公園の自然を壊しての拡充など一貫性がないのでは？ ・再編といっても市としてどれくらい困っているのか〇円⇒〇円にしたいがわからない。
Bグループ	図書館の集約について
	・図書館には市民が考え、判断し、自らの意見を持つための資料、情報提供という大切な役割があります。縮小や民営化の対象とすべきではありません。 ・利用者減少の理由は？どういう策を考えているのか、再編(統合しか)ないのか。 ・図書購入費が最下位ー請願通らなかった、図書館の人はどう思っているのか。 ・金森図書館は折りたたみ椅子。 ・保育園がお話会などに参加できるさるびあ図書館。 ・中町、森野地区高齢者、子ども、利用しやすい位置、さるびあ図書館。 ・森野に住んでいたことがあるが、近くて高齢者には便利だった。中央に統合されたら遠くて通えない人が多いのでは？ ・BM移動図書館の拠点、学校支援はどうするのか？ ・町田に引っ越してから、図書館及び学習室が小山町にないことに驚いた。もっと増やして欲しいという気持ちだったのに再編されるのは残念です。 ・さるびあ図書館は残してほしいが、老朽化の問題がある。あと何年くらいもつのか。新しい機能を加えた建て替えがよいのでは。 ・図書館でコピーが自由に取れない制約が大きい。学習室がない。 ・今回の意見交換会のお知らせは、地元町内会自治会に回覧などしましたか？

Cグループ	町田市の公共施設再編について
	・Bグループの方が最初に質問で言った「行政への信頼が低下する」というのが本当に正論だと思う。 ・生活圏を考慮した設置。
	図書館の集約について
	・さるびあがなくなるのは、率直に言って困る。 ・お金がないのは理解できる。 ・×さるびあ全廃 ○一部機能を残す 何が必要か？本を借りる窓口 子どもが本にアクセスしやすい環境 ・正直、中央よりさるびあの方を残したい。(場所以外を考えても)さるびあの方がいいと思う。 ・さるびあ図書館を残すこと。 ・サービス対象を考えた図書館づくり。 ・役割の分担(共通してやること) ・さるびあの老朽化は端的な事実なので、修繕して使う場合のコストや工程の情報を知りたい。 ・中央図書館の立地は、地元根ざした地域図書館として使うのは難しい。

Dグループ	町田市の公共施設再編について
	・町田市全体の施設再編について、市としての財政状況が詳細に知らされていない中、果たして本当に市民の側に立った再編がされようとしているのか疑問を感じます。特に学校統廃合計画の無理やりなずさんな計画、進捗を知らば知るほど、この計画は真に子どもたちの将来を見据えた計画ではないと思わざるを得ません。是非中止して欲しい。他にも美術館、モノレールなど市民の意見を十分に聞いていないと思います。 ・再編構想についてもっとくわしく知りたい。 ・築年数、施設の維持、大変であり建て替え再編は理解はできる。しかし、さるびあ図書館をなくすことには反対である。無理になくさなくても修繕でもいい。 ・公共施設再編計画は、1. 財政難、2. 人口減などを理由にしていますが、このように公共施設を減らしていくと、かえって人口が減る可能性もあります。人口を増やすには、人を大切にする政策を作る必要があります。
	図書館の集約について
	・図書館職員の説明は、「とにかく予算(財政)が厳しいので施設再編せざるを得ない」という結論ありきのように感じました。築50年を超えた図書館であっても、どのような工夫でそれを地域の子どものために存続しよう(させよう)としているのか、その思いや工夫の如何が全く判らず残念に思いました。 ・さるびあ図書館は地理的に必要だと思います。歩いて行ける図書館が地域に必要では。 ・貸し出しの冊数は人口が減れば減るのではないのでしょうか。(来館者数も同じ) ・さるびあ、移動図書館、団体貸し出しのこと、説明あったが、それ以外の中央図書館の分担しているものもある。朝日縮刷版、書庫、郷土資料の利用など、中央集約できるものとできないものがある。 ・貸し出し数や来館者数は、たとえ少し減ったとしても利用者はいるわけですから、むしろ利用者数を増やすような施策をとるべきではないでしょうか。

Eグループ	町田市の公共施設再編について
	・公共施設の再編だけを考えるのではなく、市の増収を考えるべき。例 イタリアボローニャ市 ・市民の要望を反映できる図書館 歩いて行ける＝近くにある ・場所を移さない建て替え ・税收増のアイデアをもっと考えるべき ・利用状況が減少しているから再編というのは理由として疑問。利用しやすいサービスの提供をまず考えるべき ・さるびあ建て替えて欲しい、例えばPOPビルと一緒に ・小田急の線路を越えない範囲で移っても可 ・公共施設 無料で利用できる(低額)図書館 知る権利の保障
	図書館の集約について
	・資料は両館は近接しているとたびたび出てくるが、利用実感はとても遠い。さるびあがなくなることは大いに困る。 ・図書館は多くあるほど良い(一定面積に一館など) ・高知市 68館 富山市 35館 など見習いたい。

ワークショップご意見まとめ
第2部 「地域の未来世代に手渡したい公共サービスの姿」

Aグループ	＜図書館に関するサービス＞残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能 ・文教にお金をかけるべき。 ・小山、小山田桜台に図書館をつくってください。 ・予算を増やしてください、あまりに貧困の状況。 ・さるびあは耐震ができていないので、どちらにしても建替えしなくてはならないのでは。 ・本ができるまでの過程、裏方の仕事、苦労話。 ・図書館の蔵書数は莫大な数量がある、いかに市民の人々に利用してもらうか工夫する。なにか、宝の持ちぐさのようです。 ・使われていない本が多い、図書館に来やすいとりくみが必要。 ・有名な学者や作家、著名人来てもらい、読書が人生で役立った経験を聞く機会をつくる。(6階のホールで) ・図書館で読書、勉強できる静かなスペースを残し 静かに自分と向き合う場所(世界の広がり) ・何かを創造する場所(メーカースペース,etc) ・新しい知識を学べる場所(図書以外に様々な活動から) ・知識を活用する場
	＜図書館以外の公共サービス＞残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能 ・町田は住宅地、商店があり、図書館がある、必要。 ・町田は住宅街、商店街、買い物できる町。 ・大きな店でなく小さな店をまもるしくみ。 ・新図書館にレストランを。 ・その他の施設ー介護施設を作ってください。 ・人と人が出会い、コミュニティを強固に(人と人を結びつける取り組み)宿題支援 スーパー、個人商店 ・小山田の蓮田が突然つぶされました。この乱暴なやり方に抗議します。 ・その他の施設ー小山田地域の木の伐採はやめてください。
Bグループ	＜図書館に関するサービス＞残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能 ・市民が必要とする資料・情報を無償で提供するという図書館の機能は普遍、それだけは残してほしい。 ・民間化はダメ、教育機関としての公的なサービスを！ ・専門職のレベルアップ。 ・司書さんがいる図書館。 ・もっと新しい近年の本を置いて欲しい。 ・閲覧室、読書室、多目的室、駐車場は残してほしい。 ・学習できる場所がある図書館。 ・国会図書館サービス 利用できやすいように。 ・今の図書館の利用の仕方をもっとわかりやすくしてほしい。 ・図書館と利用者でテーマつくりマスコミへ発信を。町田は文学館含めはしない ・パソコン利用もっと活用できるよう。 ・今の子どもたちに不足している経験を補うために読書体験で！！自分ではなかなか経験できないことを疑似体験できる。これから未知の事態にも対応できる力を子どもたちに持ってもらうには物語の本が必要、本を読む子どもは能力が高い！！教育として必要。 ・電子書籍は個人で楽しめばよいと思うが、読み聞かせなど、お話し会など、人とのふれあいのある活動を残してほしい。
	＜図書館以外の公共サービス＞残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能 ・お金がない中で新しいことを考えるのではなく、今のことをきちんと考えて欲しい。 ・独居老人がいつでも気楽に集まって楽しめる場所。 ・その他の公共施設ー安い使用料でいつでも使える集会室、貸室を豊富に用意して欲しい。

Cグループ	<図書館に關係するサービス>残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能
	・ある程度正確な情報にふれる(市が図書館に置くと決めたもの) ・未来のジャンルにふれる、電子ではできないのでは？ ・紙の本にふれる 電子onlyは× ・子どもが落ち着ける場所 ・資料の無料貸し出しの維持 ・開架資料の維持 ・老後の暇つぶしが出来る場所 特に本や雑誌を読みながら ・子どもが安心して本に親しめる場所(新しい) ・地域のボランティアさんのコーディネイト コーディネイトできる職員 ・小学校、中学校に対するサービス 学校貸し出しー必要な資料をまとめて貸してくれるサービス ・権力、社会批判の本、媒体を増やすこと、確保 ・増える老人、少なくなる子どもに向けての場所 運営を考えること ・映像ニュース、ビデオニュースを保存すること。
	<図書館以外の公共サービス>残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能
	・紙媒体以外のもの保存活用すること。 ・いわゆる一人です使える場所 勉強できる

Dグループ	<図書館に關係するサービス>残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能
	・親子で気軽にいける図書館が欲しい。歩いてすぐ行けることが重要。 ・さるびあ図書館のような身近な歩いて行ける図書館を残して欲しい。 ・新刊の図書がなかなか入らないので、魅力がなくなりがち、図書購入費を増やして欲しい。 ・子どもたちが使いやすいような蔵書の検索機能、検索機の台数を増やす。IT化の中で子どもたちが必要と思う本が確実に見つけれられる機能を充実させて。 ・図書館に残すべきこと、蔵書購入費の確保、充実。とにかく最新の情報や書籍が揃っていることが重要。もっと購入費を増やして内容を充実させて。 ・新聞、雑誌、本できるだけ色んな資料があること。 ・気軽に相談したり、質問しやすい職員がいてほしい。 ・本を読むことが出来る場所、学生が学習する場も含めて、席、机が欲しい。 ・各地域にある地域館の充実、地域で活動する団体と連携してイベントなど積極的に行う。運営する正規職員の力量をつける。
	<図書館以外の公共サービス>残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能
	・学校の統廃合計画は見直して欲しい。 ・町田市全体の将来像 子どもの意見表明が保障される市政に。「決まったことに従わせる」のではなく、「自分たちで希望が出せる」市政への転換を。 ・市民にとって地域に利用できる施設を残す。福祉、歴史、社会教育、図書館以外の暮らしに役立つもの。

Eグループ	<図書館に關係するサービス>残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能
	・集える場所または交流できる場所 ・未来に残したいイメージ 自動化とか真新しいとかではなく、ほっとする親しめる空間＝古い方が良い。 ・図書館は大きな文化的拠点→減らすのではなく→増やすべき ・未来としてさるびあ図書館を残す 地理的位置 蔵書 受取場所としてさるびあ建て替えの場合 同じ場所or隣接であるべき ・平日も利用しやすいように、夜間も開設する 月曜定休をやめる 曜日をずらす ・郷土資料を残す
	<図書館以外の公共サービス>残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能
	・他の施設とのコラボレーション 例 新産業創造センター 経済、産業、マーケティングに関する図書 ・町田駅前の施設とのコラボレーション